

今井地区

幼児健康診査を実施

…32%が異常をうつたえる…

さきごろ、今井地区の幼児健康診査を市医師会の協力をえて実施しました。

診断の対象は、今井毘沙門町、今井本町、今井東町の6歳以下の幼児262人。このうち診断を受けたのは224人。診断を受けた幼児のうち33%にあたる72人(うち20人は虚弱児)がカゼをひきやすいなどの異常をうつたえました。

また、ノドを調べたところ、異常をうつたえた幼児のうち29人、異常のなかつた幼児のうち93人、あわせて102人に炎症などの異常がみとめられました。

異常のみとめられた幼児は、6月に千葉大学公衆衛生学教室が実施する「学童

検診、のときに精密検査を行なうことになっています。

今年度の学童検診は、元吉原小学校と今泉小学校を汚染校に、大淵第1小学校と富士宮市貴船小学校を対象校にし、6月と10月に実施します。調査の対象は追跡調査を実施していますので、今年度は5年生の検診を行ないます。

なおこうした健康調査は昨年行なつた藤間地区について2回目です。藤間地区の乳幼児検診は、73人のうち約51%の37人が精密検査を受けました。こうしたことから、広い地域が

汚染されていると思われますので、これからは学童検診とともに幼児健康診査をさらに行ない、長期的な治療計画や予防対策をたてていきます。



【医師会の診察を受ける今井地区の幼児】

全体に汚染はやや減少

自動記録計によるイオウ酸化物測定

自動記録計によるイオウ酸化物の測定結果がこのほどまとまりました。今回のデータは昭和44年10月から昭和45年3月までの6カ月分です。

測定の結果を前年の同期と比べると、全体に汚染が減少しています。これは、高煙突化などの施設改善や使用重油の低イオウ化によるものと思われますが、年間を通して気象条件の悪い同期が比較的今年はやかったものと思われます。なお、2月は7測点とも前年にくらべ汚染が高くなっていますが、これは逆転層の出現が多くみられたためと思われます。

イオウ酸化物測定結果 43・10~44・3と44・10~45・3の対比

測定場所	測定期間	測定日数	測定時間数	1時間値の 期間平均 (PPm)
富士事務所	43年 44年 10月~3月	181	4314	0.055
	44年 45年 10月~3月	180	4256	0.049
第三中学校	43年 44年 10月~3月	178	4157	0.055
	44年 45年 10月~3月	177	4125	0.061
勤労青少年会館	43年 44年 10月~3月	169	3994	0.043
	44年 45年 10月~3月	177	4076	0.043
鷹岡事務所	43年 44年 10月~3月	173	4057	0.055
	44年 45年 10月~3月	168	3855	0.045
大淵中学校	43年 44年 10月~3月	165	3877	0.034
	44年 45年 10月~3月	68	1558	0.028
富士保健所	43年 44年 10月~3月	172	3954	0.080
	44年 45年 10月~3月	166	3185	0.081
元吉原中学校	43年 44年 10月~3月	154	3457	0.093
	44年 45年 10月~3月	162	3734	0.075

月別1時間平均値 (PPm)					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0.054	0.051	0.056	0.057	0.055	0.052
0.046	0.051	0.047	0.045	0.056	0.048
0.051	0.058	0.059	0.056	0.043	0.061
0.068	0.065	0.068	0.056	0.057	0.054
0.042	0.040	0.043	0.042	0.042	0.044
0.045	0.045	0.041	0.037	0.046	0.045
0.052	0.056	0.057	0.059	0.052	0.058
0.046	0.046	0.046	0.044	0.053	0.036
0.037	0.033	0.031	0.036	0.035	0.032
0.043	0.016	欠	欠	欠	0.026
0.070	0.080	0.074	0.104	0.079	0.072
0.049	0.067	0.093	0.066	0.084	0.061
0.070	0.116	0.122	0.102	0.057	0.064
0.096	0.097	0.073	0.080	0.073	0.054

■ 犬の放し飼いはやめましょう。